

氏名	塚 本 千 秋
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第2903号
学位授与の日付	平成7年 9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	ひきこもりと強迫症状を呈する青年期患者への訪問治療
論文審査委員	教授 庄盛 敏廉 教授 岡 鋈次 教授 小川 紀雄

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

家庭にひきこもり、強迫症状を呈する青年期患者4症例に対する訪問治療の経過を報告し、訪問治療に必要な留意点について検討した。治療者は、症例の病理に対する理解に加え、治療の各時点における外的治療構造と内的治療構造の容態とその相互関係を治療構造論的に認識した上で、訪問治療にあたらなければならない。そして現実には訪問治療をなすに当たっては、上記の理解と認識に加え、以下の留意が必要である。

- ① 訪問前に家族と十分に話しあいを行う。
- ② 患者に「面会の拒否」を保証し、面会可能になってからもインフォームド・コンセントに留意する
- ③ 訪問を継続しながら理想化転移関係が長期的に維持されるようにする。
- ④ 患者に外来通院を働きかける場合、訪問と外来の両方を一人で行う場合には十分な訪問期間が必要であり、可能なら訪問を続ける治療者と外来で待ち受ける治療者の二人で治療に当たる。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、青少年期の問題行動に対する精神療法について研究したものであるが、従来あまり注目されていなかった精神分析的素養を持つ精神科医師による『訪問治療』について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。